

パシフィック「スカイワンII」を導入 テクノス製

最適輸送、1割減車を実現

てを幅広く供給エリアと
している。

同社は、周辺を閑静な

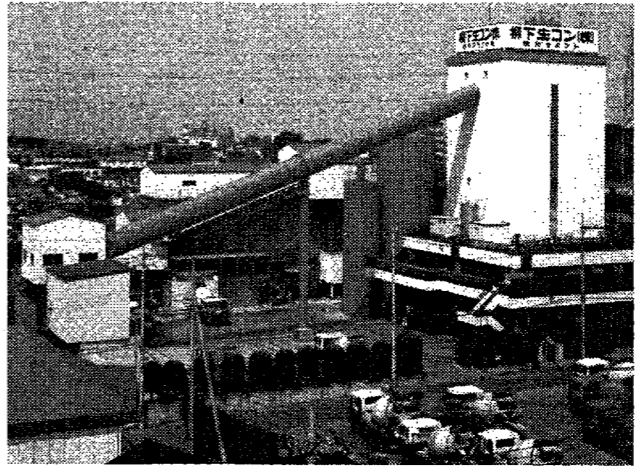
柳下生コン(埼玉県和
光市、柳下正章社長)
は、全国で最初にMCA
無線と生コン出荷管理装
置を運動し、生コン納入
現場の状況がリアルタイ
ムにみえるGPS生コン
クリート配車管理システ
ム「スカイワンII」
(パシフィックテクノ
ス)を導入し、生コン事
業にいち早くITを組
込んだ先駆的な企業だ。
また、柳下社長は秩父セ
メント(現太平洋セメン
ト)出身で、生コン業界
に転身して9年目、今後
を期待される若手経営者
の一人である。自身を含
めて「現状維持では、そ
こから前に進まない。常
に物事を前向きに考え
る」ことを全社員に徹底
している。

同社は、昭和38年9月
に柳下建材店として設
立、41年3月に柳下建材
工業、61年7月に現在の
柳下生コンに商号変更し
た。関連会社に柳下運
輸、秩父資材がある。
同社は、埼玉中央生
コン協同組合、東京地区生
コン協同組合、東関東生
コン協同組合の3協組に
加盟し、主に東京都西北
部から埼玉県南部にかけ

GPS生コンの先駆企業 柳下生コン 配車管理

住宅街や公園等に囲まれ
た場所に位置し、敷地面
積は約3000㎡で、車
両駐車面積が約120
0㎡。また、同社の設備
は、プラントが強制2軸
型6000ℓ×1基(日
工製、昨年8月に更
新)、セメントサイロ4
基(6種類対応)現在ほ
普通、高炉、早強、中庸
熱、低熱の5品種)、混
和剤タンク8000ℓ×
9基などとなっている。
骨材は、品質確保のため
完全密閉式コルゲート骨
材(リン)に貯蔵。製造・出
荷工程の諸設備には、公
害防止のため、粉じん対
策の円筒型ベルトコンベ
アや回収処理装置を備
え、万全の配慮がなされ
ている。

またミキサー車は、大
型車が12台、中型の10
台、小型の6・5台、
2台を保有している。
社員数は17人(輸送部
門除く)で、このうちコ
ンクリート主任技士2
人、コンクリート技士5
人が在籍している。
同社は、まず昭和59年
9月に工場と全車両とに
無線を装備。続いて、平
成13年4月に「スカイワ
ンII」を導入してい
る。



工場全景 (全自動4層完全密閉式)

改善を重ねつつ、同社の
1号機として本格導入す
るに至った」と語る。
その効果については、
「首都圏の中心部への生
コン供給に際しては、納
入現場の事情やミキサー
車の駐停車に対する厳し
い制限に加え、交通状況
を迅速に把握する必要が
あり、無駄のない効率的
な配車を実現することが
最大の課題となる。こう
した都心部の生コン業者
が抱える各種問題を、同

システムを活用すること
で、かなり改善すること
ができた」(柳下社長)。
また、車両の稼働率向
上による最適輸送を可能
としたことにより、生コ
ン品質の確保、現場への
迅速かつ的確な納入に対
するユーザーからの高い
評価、無線会話時間の削
減による安全運行など、
様々な効果を生み出した
という。

加えて、日報の自動作
成による日常業務の合理
化や社員の仕事に対する
意識の向上にもつながっ
ている。
「しかしながら、シス
テムの機能を100%使
いきれているかといえは
まだ十分とは言えない。
今後、さらなる効果を引
き出すために、工夫でき
る余地が残されている」
(同)とさらなる活用を
目指す。
コスト面では、同シス
テムの導入により、約1
割の減車を実現してい
る。

単独で高強度コンクリート大臣認定を取得

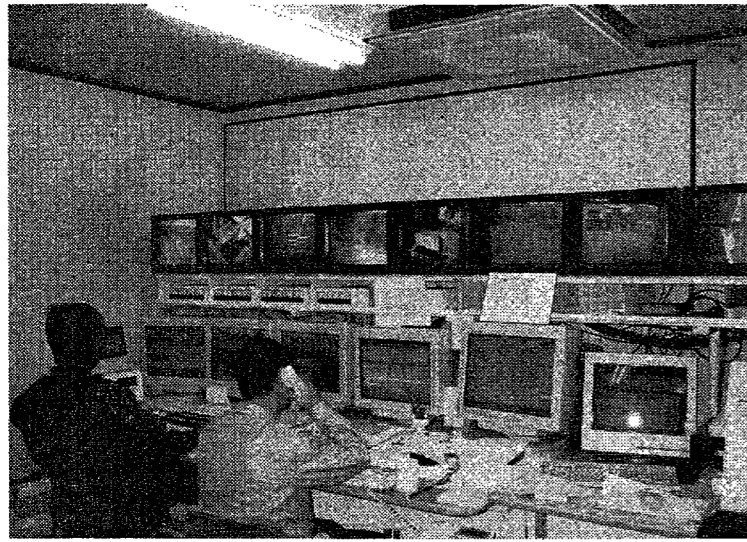
サービス面で顧客満足向上

一方、同社は近年の
建築物件を中心とした高
強度化に対応するため、
平成16年9月に単独で高
強度コンクリートの大臣
認定を取得している。
また、今年10月にはI
S9001の認証を取
得した。

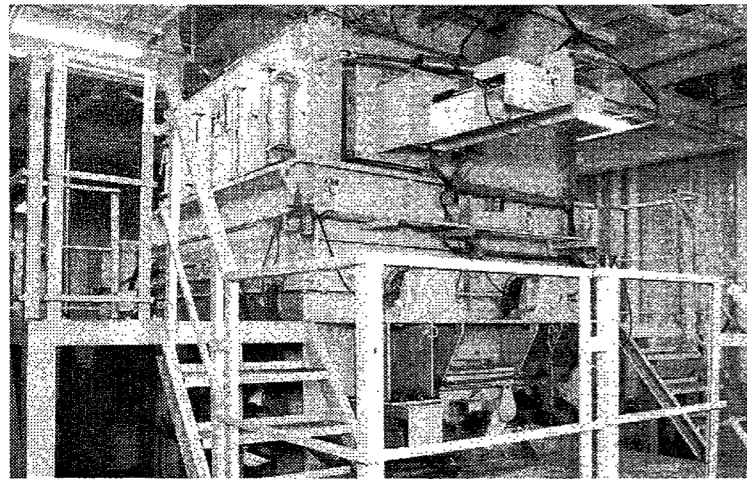
需要については、現状
では都内向け出荷のウエ
イトが高く、マンション
関連の出荷が底堅いこと
もあり、他のエリアと比
較すると、大きな落ち込
みはなく推移している
という。

「生コン業界は、単一
製品を扱って
いるため、新
製品開発など
での差別化は
難しいと言え
る。また、顧客
満足度という
面で、最高の
材料を仕入れ
て高品質な商
品を製造する
ことは理想だ
が、コストが
割高になって
事業としては
採算が取れな
い。さらに、
生コン単価は
主に契約ペー
スのため、コ

「また、環境配慮への
対応も今後の大きな課題
のひとつであり、企業価
値を高めるために有効と
いう。」
一方で、太平洋生コン
会とのつながりについ
て、「経営者および技術
者が研修会や講習会、セ
メント工場見学会などを
通じて、技術の研鑽を積
むとともに、業界の最新
情報の取得や他社の経験
を学ぶ上で貴重な機会だ
と考えている」とそのメ
リットの大きさを口にす
る。



GPS配車管理をはじめ各種システムを導入した
コンピュータ総合管理室



強制2軸型6000ℓミキサー

「太平洋セメント生コン会特集」

太平洋セメント生コン会特集